

株式会社 西田製作所

新分野進出に繋がる設備導入とコスト削減設備により異形ワーク製品の品質向上と量産化に光明

平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

事業の実施期間 平成28年7月1日～平成28年11月8日

事業計画名

医療用機器分野での受注拡大を見据えた品質向上・コスト削減による異形ワーク製品の量産システム構築及び提案型営業体制の推進

企業紹介

当社は昭和41年の創業以来、金属の切削加工をメインに行っており、自動車用ギヤ、産業ロボット用駆動ギヤ、二輪用スプロケット、バランサー、農機用各種部品等の加工を行っている。「倉吉発世界」を基に国内・国外、様々なエンドユーザーへ加工品を供給している。

事業の取組内容

○事業の計画概要

利益確保が困難とされてきた「異形ワーク製品」において、専用加工治具の開発および画像寸法測定器の導入により大幅な品質向上・コスト削減を実現し、産業用機械・医療用機器分野での受注拡大を見据えた異形ワーク製品の量産システムを構築する。　事業類型：一般型

○事業目的の概要

設立50周年を機に異形ワーク製品の生産ノウハウを応用し、現在受注が増加している産業用 機械・医療用機器を筆頭に、他企業・異分野・新材料への提案営業を推進強化することで下請け体質からの脱却を目指す。

○導入機械装置

①装置名：画像寸法測定機（キーエンス IM-6700）

用途：精密加工における各工程の寸法測定検査に用い、測定時間の大幅な短縮によるコスト削減と検査精度の向上を行う。

②装置名：NC旋盤

用途：加工機をマシニングセンタからNC旋盤へ移行し、生産リードタイムの短縮によるコスト削減、品質の向上を狙った専用加工治具の開発を行う。



NC旋盤を使用し生産コストの軽減、
品質向上を目指し新しい製品の開発を行っている



検査制度の向上し、
高度な専門知識を必要としない為、
作業人員の確保が容易になった

この企業の「強み」

当社は炭素鋼、アルミ素材の成形を下記の加工機を使用して切削加工している。加工機は、NC旋盤、マシングセンタをメインにした切削加工、ホブ盤によるスプロケット加工、円筒研磨機による研磨加工、ブローチ盤によるスプライン加工等を行い、多品種小ロットから大ロットまで加工対応している。製品品質は、ISO9001：2015を取得する等、高い評価を得ており、国内のみならず国外にも供給されている。若くて活力ある社員が一丸となって新たな分野にチャレンジしている。



〇事業の成果

●生産効率の向上に関する成果

①加工機をマシニングセンタからNC旋盤へ移行し製造コストの削減を図った。

・加工時間の短縮により、1時間当たりの加工効率が向上した。

②画像寸法測定器の導入による検査工程の合理化が実現した。

・最大99か所の同時測定による大幅な時間短縮を達成した。



NC旋盤マニシングセンタをメインに切削加工機等で
小ロットから大ロットまで対応が可能

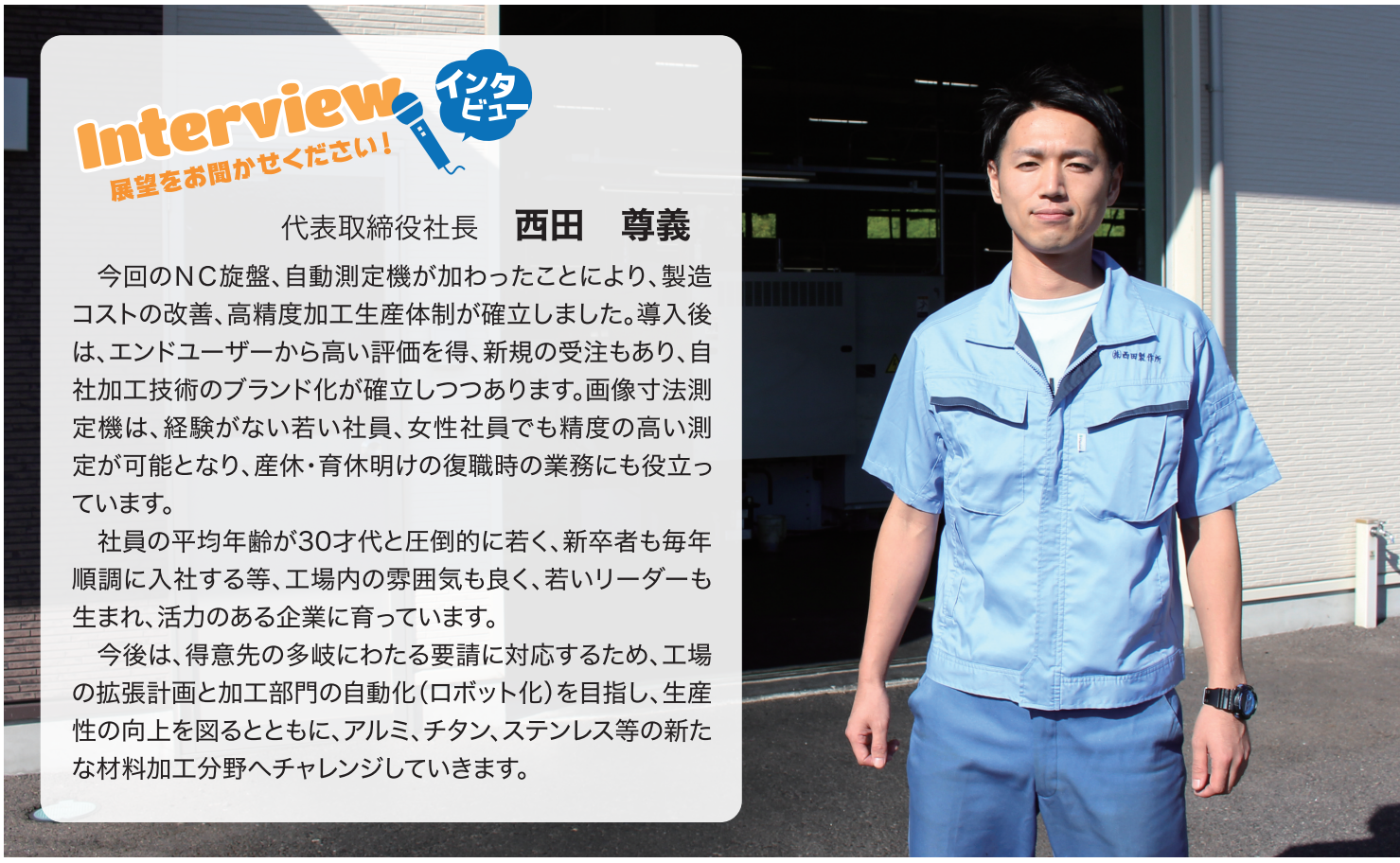


自動車やロボット部品など様々な分野に対応した加工品

〇事業化に向けて想定している内容

●異形ワーク製品の量産システムと提案型営業による受注の拡大を行う。

品質向上とコスト削減を実現できた異形ワーク製品の「量産システム」と生産ノウハウを活かした「提案型営業」による既存取引先の掘り下げと新規取引先の開拓を行う。



Interview インタビュー
展望をお聞かせください！

代表取締役社長　**西田　尊義**

今回のＮＣ旋盤、自動測定機が加わったことにより、製造コストの改善、高精度加工生産体制が確立しました。導入後は、エンドユーザーから高い評価を得、新規の受注もあり、自社加工技術のブランド化が確立しつつあります。画像寸法測定機は、経験がない若い社員、女性社員でも精度の高い測定が可能となり、産休・育休明けの復職時の業務にも役立っています。

社員の平均年齢が30才代と圧倒的に若く、新卒者も毎年順調に入社する等、工場内の雰囲気も良く、若いリーダーも生まれ、活力のある企業に育っています。

今後は、得意先の多岐にわたる要請に対応するため、工場の拡張計画と加工部門の自動化（ロボット化）を目指し、生産性の向上を図るとともに、アルミ、チタン、ステンレス等の新たな材料加工分野へチャレンジしていきます。

金属製品製造業

株式会社西田製作所



本社／〒682-0035　鳥取県倉吉市広栄町900-2　Tel.0858-22-5080

西田製作所　https://nishidaseisakusho.hp.gogo.jp/pc/index.html